

一般質問

佐渡の景気と
見通しについて

牧野秀夫 議員

質問

平成17年度の佐渡の景気と、見通しについて問う。

市長

国内経済はきびしい。

日本中が良くなる悪くなるでなく、まだら模様だ。佐渡は台風で農業漁業等に大きな被害を受けた。また中越地震の風評被害で観光が落ちこんでいる。観光対策として、佐渡

汽船の運賃問題、エコツアーや、リピーターづくりに取り組むつもりだ。観光客数を75万人以上にしたいが、「愛地球博」のこれからの動きがわからないので、佐渡の観光は今のところ不透明だ。

質問

加茂湖の埋立てによる開発と国道バイパスが重要な施策のひとつである。両津

の長江橋から佐渡汽船までのルートは決まっているが、金

井から両津にかけてのルートは明確ではない。また国道バイパスは佐和田から金井、金井から両津へ向かうが、それを横断する横山から新穂へ抜ける横宿線の整備も急がれるが考えを問う。

市長

加茂湖埋立ての総合

事業費は総額90億、平成15年度より10か年計画である。現在埋立て、仮設ヤード、土砂の搬出などであり仮設の地権者からは同意を得ている。国道バイパス・横宿線改良は平成15年12月、新穂、金井で地元説明会を開いたが、住民の理解を得られなかった。重要

な道路であり県と共に話し合

質問

中心市街地活性化と

北埠頭再開発は、旧両津市においては最重要施策のひとつであった。これについては今のところ明確な方針が見えていない。合併後両津商店街ではいくつかの商店が閉店して「何のための市町村合併であったのか」と怒りをあらわにしている。これからの対策について問う。

市長

中心市街地活性化事

業は平成14年、基本計画を策定し、TMOで現在国の認可を取って進めている。夷や湊の街が活気ある昭和初期の湊町になるよう活性化を図り、

北埠頭再開発は観光の交流施設として表玄関の役目を果たしたい。

質問

佐渡空港の拡張計画

と今後の見通しについて聞く。市長は空港問題には大変力を注いでいるようだが、空港拡張とは別だったとはいえ、県が地権者の土地に無断で入ったため立腹している。今後ど

のように対処しようとするのか。

市長

地権者99人中、4名

の方が未同意だ。また小型機への転換や、方線の振り替えなどについてはいろいろな方策のひとつとして考えているかもしれない。



整備が待たれる加茂湖周辺